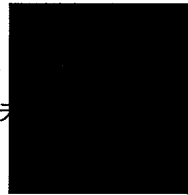


厚生労働大臣 殿

学校法人 愛知医科大学
理事長 加藤 延 夫



愛知医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	90.0人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	333人	148人	352.0人	看護業務補助者	32.0人	診療エックス線技師	0.0人
歯科医師	11人	11人	11.2人	理学療法士	15.0人	臨床検査 衛生検査 その他	臨床検査技師 61.7人
薬剤師	64人	4人	66.6人	作業療法士	6.0人		衛生検査技師 0.0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	2.0人		その他 0.0人
助産師	15人	0人	15.0人	義肢装具士	0.0人	あん摩マッサージ指圧師	0.0人
看護師	652人	22人	664.1人	臨床工学技士	11.0人	医療社会事業従事者	6.0人
准看護師	15人	0人	15.0人	栄養士	0.0人	その他の技術員	39.0人
歯科衛生士	3人	0人	3.0人	歯科技工士	2.0人	事務職員	61.0人
管理栄養士	13人	0人	13.0人	診療放射線技師	38.0人	その他の職員	22.0人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	713.1人	7.8人	720.9人
1日当たり平均外来患者数	1,857.4人	66.8人	1,924.2人
1日当たり平均調剤数	3026剤		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時間現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	9人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

記入済

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
強度変調放射線治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
人工中耳	有・無	人
歯周組織再生誘導法	有・無	人
抗がん剤感受性試験	有・無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
生体部分肺移植術	有・無	人
活性化血小板の検出	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
眼底三次元画像解析	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	57人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	20人
・多発性硬化症	52人	・ウェゲナー肉芽腫症	54人
・重症筋無力症	118人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	10人
・全身性エリテマトーデス	362人	・多系統萎縮症	5人
・スモン	3人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	34人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	314人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	13人	・原発性胆汁性肝硬変	0人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	251人	・重症急性膵炎	17人
・特発性血小板減少性紫斑病	162人	・特発性大腿骨頭壊死症	44人
・結節性動脈周囲炎	18人	・混合性結合組織病	31人
・潰瘍性大腸炎	218人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	31人	・特発性間質性肺炎	17人
・ピュルガー病	59人	・網膜色素変性症	51人
・天疱瘡	25人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	53人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	43人	・神経線維腫症	36人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	14人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	316人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	18人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	133人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	3人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に3回程度	
剖検の状況	剖検症例数 15 例	剖検率 3.6 %

(様式11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (円)	補助又は委託元
GM-CSF吸入による重症特発性肺胞蛋白症の治療研究	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科	4,250,000	補委 文部科学省
アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテーラーメイド治療法の確立に関する研究	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科	3,200,000	補委 厚生労働省
筋ジストロフィーおよびその関連する疾患の病態生理の解明と治療薬物の開発に関する研究	佐橋 功	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働省
三次元形状計測装置による下肢容積の測定	岩田博英	血管外科	2,800,000	補委 文部科学省
男性ホルモン低下に起因する老年病の治療戦略とその機序に関する総合研究	若槻明彦	産婦人科学	1,300,000	補委 厚生労働省
ハイリスク子宮頸部異形成の指標としての血中クラミジア由来HSP抗体価の意義	野口靖之	産婦人科学	100,000	補委 日本学術振興会
抗癌剤感受性試験に基づく卵巣癌化学療法の個別化に関する前方視的研究	野口真理	産婦人科学	250,000	補委 (財)愛知県がん研究振興会
機能性色素を用いた放射線インジケータによる IVR患者被ばく線量の検討	石口恒男	放射線科	100,000	補委 厚生労働省
音楽運動療法検証から発展させた五感刺激心拍リズム1/f ゆらぎ解析法の適用領域拡大	後藤幸生	麻酔科	800,000	補委 日本学術振興会
神経ペプチドYの血管透過性作用における構造活性相関の解析	佐藤祐子	麻酔科	1,900,000	補委 文部科学省
吸入麻酔薬による肺粘膜免疫の障害と術後肺炎との関連	朝倉雄介	麻酔科	1,100,000	補委 文部科学省
末梢神経ブロック併用麻薬持続静脈内投与が開腹術後の日内心拍変動に与える影響の検討	柴田康之	麻酔科	2,500,000	補委 文部科学省
高齢者医療サービスの標準化並びに長寿医療の提供体制に関する研究 分担課題：高齢者の安全な麻酔法の確立研究	藤原祥裕	麻酔科	1,500,000	補委 国立長寿医療センター
関節リウマチのS100A8/A9タンパクによるマクロファージ活性化機構の解明	山村昌弘	リウマチ科	2,200,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチにおける炎症性サイトカインによる骨形成障害の分子機構の解明	山村昌弘	リウマチ科	200,000	補委 愛知糖尿病リウマチ痛風財団
α-トコフェロールによる生体保護作用：バイオマーカーとしての呼気一酸化炭素	野口宏	救命救急科	2,000,000	補委 日本学術振興会
熱傷以下における免疫異常と樹状細胞機能：CpGエフェクターによる免疫調整	武山直志	救命救急科	2,000,000	補委 日本学術振興会

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器科, 42(2): 216-218, 2006.	低栄養状態の炎症性腸疾患患者に対するn-3系脂肪酸の効用-効果的栄養補助療法の検討	宮田充樹	消化器内科
The Japanese Society of Digestion and Absorption 29(1): 88-91, 2006.	クローン病における成分栄養療法の治療効果の検討	宮田充樹	消化器内科
World Journal of Gastroenterology 2006 January 28; 12(4): 656-658.	Successful treatment of severe pouchitis with rebamipide refractory to antibiotics and corticosteroids: A case report	Mitsuki Miyata	消化器内科
愛知医科大学医学会雑誌 34(1): 9-17 2006年	左前下行枝領域に定量的冠動脈造影上有意狭窄をもつ虚血性心疾患に対する, 冠動脈インターベンション, 冠動脈バイパス術, 薬物治療の短期および長期予後の比較検討	脇田嘉登	循環器内科
J Cardiol 47(6): 307-312 2006年	スタチン投与で冠動脈内巨大脂質プールの退縮を血管内エコー法により確認しえた1例	高島浩明	循環器内科
心臓 38(suppl.3): 10-14 2006年	自動体外式除細動器により心室細動から蘇生された冠攣縮性狭心症の1例	浅井健次	循環器内科
Circ J 70: 1111-1115 2006年	Impact of Angiotensin II Receptor Blockers on the Progression and Regression of Coronary Atherosclerosis	Takayuki Ito	循環器内科
Hypertension Res 2006; 29: 315-322.	Metabolic syndrome in Japanese patients with obstructive sleep apnea syndrome.	Ryujiro Sasanabe	循環器内科
Respirology 11:S55-S60, 2006	Epidemiological and clinical features of idiopathic pulmonary alveolar proteinosis in Japan	Yamaguchi E	呼吸器・アレルギー内科
Eur Respir J 27(1):1-9, 2006	Role of macrophage migration inhibitory factor in ovalbumin-induced asthma in rats.	Yamaguchi E	呼吸器・アレルギー内科
Am J Respir Crit Care Med 174(10):1119-24, 2006	Polymorphisms in the muscarinic receptor 1 gene confer susceptibility to asthma in Japanese subjects.	Yamaguchi E	呼吸器・アレルギー内科
Sarcoidosis Vasc Diffuse Lung Dis. 23(1):78-9, 2006.	A case of sarcoidosis with multiple endobronchial mass lesions that disappeared with antibiotics.	Baba K	呼吸器・アレルギー内科
Medical Practice 2006; 23(9):1551-1556.	生活習慣病の实地診療・セミナー/生活習慣病の病期・病態別診療指針と薬の選択法 骨粗鬆症.	高木潤子	内分泌・代謝・糖尿病内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
運動障害, 2007 17:13-16	脳梁離断症状を示した1例	中尾直樹	神経内科
Clin Lab Haem 28:262-266, 2006	Gene expression changes in a patient presenting nonleukaemic nasal granulicytic sarcoma to acute myelogenous leukaemia using 40K cDNA microarray	Miwa Hiroshi	血液内科
Brit J Haematol 135:673-682, 2006	t(8;21) acute myeloid leukaemia cells are dependent on vascular endothelial growth factor (VEGF)/VEGF receptor type2 pathway and phosphorylation of Akt.	Nitta Masakazu	血液内科
Leukemia Res 30:379-383, 2006	Low p53 expression of acute myelocytic leukemia cells with t(8;21) chromosome abnormality: association with low p14 ^{ARF} expression	Shikami Masato	血液内科
Journal of Microwave Surgery 24:109-13, 2006	転移性肝腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	小竹克博	消化器外科
愛知医科大学医学会雑誌 34(1):29-36, 2006	肝切除後のトリプシンインヒビターとサイトカインの血液中の動態に関する研究	黒川剛	消化器外科
Journal of Microwave Surgery 24:63-5, 2006	肝腫瘍に対する鏡視下肝切除術におけるマイクロ波凝固-5mmプローブの有用性-	稲垣均	消化器外科
臨床外科 61(4):449-452	特集 最新の手術器械-使いこなすコツを学ぶ マイクロ波メスを用いた肝切除術	野浪 敏明	消化器外科
日本血管内治療学会誌 7, 25-29, 2006	胸部、腹部重複大動脈瘤に対するステントグラフト手術による治療戦略-同時手術の有用性を中心に	石橋宏之	血管外科
脈管学 46(2):93-98, 2006	重症虚血肢のアイソトープによる治療効果判定	川西 順	血管外科
第10回大動脈ステントグラフト研究会症例集X, 35-38, 2007	内腸骨動脈再建、ステントグラフト内挿術を施行した解離性腹部大動脈瘤の1例	石橋宏之	血管外科
Surgery Today 37:305-307, 2007	Successful Treatment of an Aorto-ileal-conduit Fistula with an Endovascular Stent Graft: Report of a Case	Hiroyuki Ishibashi	血管外科
静脈学, 18(2):49-53, 2007	下肢静脈瘤患者における色素沈着の他覚的評価法	岩田博英	血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
細胞 2006.38(14) : 573-577.	【メラノーマ】 悪性黒色腫の発症機構の解析.	加藤昌志	皮膚科
皮膚科の臨床 2006.48(7) : 893-896.	顔面・陰部のBowenoid Papulosisに対する光線力学的療法の試み.	伊藤章希	皮膚科
発汗学 2006.13(1) : 34-35.	掌蹠多汗症における酢酸添加水道水(pH4.5)を用いた交流式イオントフォレーシス療法の効果について.	河田守弘	皮膚科
発汗学 2006.413(1) : 36-37	掌蹠多汗症に対するイオントフォレーシスにおける抗コリン剤内服併用療法の効果.	高橋早苗	皮膚科
臨床皮膚科 2006.60(3) : 297-300.	愛知医科大学皮膚科におけるセンチネルリンパ節生検を施行した悪性黒色腫の統計的観察	久原友江	皮膚科
日本産科婦人科学会雑誌	日本産科婦人科学会専門医制度研修コーナー/症例・プライマリー・ケア(救急) 骨粗鬆症.	若槻明彦	産科婦人科
日本更年期医学会雑誌	動脈硬化の観点からみたこれからのホルモン補充療法.	若槻明彦	産科婦人科
日本産科婦人科学会雑誌	軽度の耐糖能異常妊婦における血管内皮障害と子宮動脈の血管抵抗 高血糖による酸化ストレスとの関連性に注目して.	篠原康一	産科婦人科
日本周産期・新生児医学会雑誌	妊娠中の喫煙と周産期の異常について.	篠原康一	産科婦人科
日本周産期・新生児医学会雑誌	酸化ストレス発生後の経母体的メラトニン投与による新生仔脳障害の予防効果.	渡辺員支	産科婦人科
J. Aichi Med.Univ. Assoc.	Effects of heparin and chemically modified heparins on Chlamydia trachomatis serovar D infection of hela 229cells in culture.	Shingo Kinoshita	産科婦人科
Am J Ophthalmol.	Histopathology of blepharoptosis induced by prolonged hard contact lens wear.	Kakizaki H.	眼科
Jpn J Ophthalmol.	Intraoperative quantification using finger force for involutional blepharoptosis without postoperative lagophthalmos.	Kakizaki H.	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床生理学会雑誌 Vol.36 No2 (別刷) 平成18年4月1日発行	物理的ウェーブレットを用いて解析した全身麻酔下脳神経外科顕微鏡手術手術中の心拍変動 * 0.005Hz以下の超低周波数成分を中心に	小松徹	麻酔科
ANESTH ANALG 2006;102;S-317	SYMPATHOVAGAL EFFECTS OF INTRATHECAL BUPIVACAINE SUPPLEMENTED WITH INTRAVENOUS OR INTRATHECAL FENTANYL ASSESSED BY HEART RATE VARIABILITY	Y.Fujiwara	麻酔科
Critical Care	Ultrasound guided rectus sheath block,Ultrasound guided transversus abdominis plane block	柴田康之	麻酔科
American Journal of Hematology 82:000-000(2006)	Serine/Threonine Kinase PKR:A Sentinel Kinase That Discriminates a Signaling Pathway Mediated by TLR4 From Those Mediated by TLR3 and TLR9	Y.Asakura	麻酔科
Pain Clinic Vol.28 No.1	The CNS role of Toll-like receptor 4 in innate neuroimmunity and painful neuropathy	朝倉雄介	麻酔科
Anesth Analg 2006;102	Ventricular tachycardia in a patient with Brugada syndrome during general anesthesia combined with thoracic paravertebral block	Fujiwara Yoshihiro	麻酔科
Acta Anaesthesiol Scand. 2006;50	A marked decrease in heart rate variability associated with junctional rhythm during anesthesia with sevoflurane and fentanyl	Fujiwara Yoshihiro	麻酔科
Anesth Analg 2007 In Press	Preoperative Ultra Short-term Entropy(UsEn)Predicts Blood Pressure Fluctuation during the Induction of Anesthesia.Anesth Analg. In Press	Fujiwara Yoshihiro	麻酔科
Anaesthesia 2006 In Press	Correlation between Heart rate variability and haemodynamic Fluctuation during Induction of General Anaesthesia.-Comparison between Linear and Nonlinear	Fujiwara Yoshihiro	麻酔科
Anaesthesia 2007,62	Correlation between Heart rate variability and haemodynamic Fluctuation during Induction of General Anaesthesia.-Comparison between Linear and Nonlinear	Fujiwara Yoshihiro	麻酔科
Anesthesia Network Vol.11 No.1 2007【別刷】	【特集】超音波ガイドによる神経ブロック 体幹における超音波ガイド下末梢神経ブロック：開腹手術への応用	柴田康之	麻酔科
南風 2006;38:58-60	疼痛性障害について	山口 力	総合診療科
心療内科 2006 ; 10 : 63 - 70	特集：心療内科における薬物療法—update—抗不安薬	金子 宏	総合診療科